

特集

◎編集部のSpecialレポート

日本工業大学大学院技術経営研究科

<http://mot.nit.ac.jp/>

研究指導のために中国の工場も視察。
「本気には本気で応える」教員と
大学院生たちの熱意。

日本の産業を支える中堅・中小企業に焦点をあてた
技術経営(MOT)の専門職大学院というユニークな教育方針を
掲げている日本工業大学大学院技術経営研究科。
平日夜間と土曜日の開講、1年で修了というカリキュラムも特徴的だ。
そこで学ぶ大学院生たちの高い意識と、
それに応える教員たちの熱意ある教育を紹介する。



日本工業大学大学院
技術経営研究科 研究科長
小田 恭市 教授

この学校の資料を取り寄せる

ものづくりニッポンに欠かせない技術経営(MOT)

日本工業大学大学院技術経営研究科は、2005年に開設された社会人対象の専門職大学院である。技術経営(MOT: Management of Technology)とは技術系のMBAと呼ばれ、ものづくりの能力に加え、マネジメント能力も持つ人材を育成する学問分野として注目を集めている。日本工業大学は創設以来「ものづくりに優れた独創的、実践的な技術者の育成」を掲げており、このことを踏まえ、これからの「ものづくりニッポン」に欠かせない技術経営人材を育成することを目的に専門職大学院を設立した。

中堅・中小企業に焦点をあてた教育



同研究科は「中小企業技術経営コース」「プロジェクトマネジメントコース」「起業・第二創業コース」という3つのコースで構成されており、中堅・中小企業に焦点を絞るというユニークさを持っている。技術経営研究科の研究科長である小田恭市教授はその背景について次のように語っている。

「大企業では組織的に効率良く会社を運営することが考えられているため、各々の部署でその部署にとって最適な解は何かを追求する傾向があります。一方中堅・中小企業は、それほど多様な部署に分かれているわけではないので、経営者でなくても『その会社にとって最適な解は何か』を考えようとする。本研究科が育成する技術経営の能力は、こうした『全体

解』を追求する際に最も力が発揮できるので、主に中堅・中小企業に焦点を当てて教育を行うことにしています。また、株主のために経営しなくてはならない大企業よりも、中堅・中小企業は創業者や創業者の志を受け継いだ人材が経営に携わっていることも多く、『夢と理想』の実現のために経営されることも多いという魅力です。技術経営の視点はこうした環境にいる人にこそ身に付けてもらいたいものですし、より能力が発揮できると考えています。」(小田研究科長)。

こうした「中堅・中小企業の技術経営的視点」は、組織の活性化を目指す大企業でも必要とされており、カンパニー制や分社化によって実現しようとする企業も多い。そうした傾向を受けて、同研究科で学ぶ学生の中には大企業に所属している人も多く、小田研究科長は言う。

この学校の資料を取り寄せる

1年で修了できるカリキュラム

同研究科の大きな特徴は、1年間で修了できるカリキュラムになっていることだろう。多くの大学院生がこの短期集中のカリキュラムに惹かれて入学している。大手監査法人に勤務する岩崎かおりさんもその一人だ。

「キャリアを積んでいくにつれ、『このままではいけない』という危機感が次第に募っていき、もっと組織や社会で役立つ人になりたいと思うようになっていたのが大学院で学んでみようと思ったきっかけです。最初はMBAを考えていたのですが、いろいろ調べていく中で、2年間は長いと思うようになっていきました。学位を取ることが目的ではなく、修了したあとにどんな仕事をするかが学ぶ目的だったので、少しでも早く大学院は終わらせたいです。技術経営研究科ではありますが、当然経営的なカリキュラムは充実していますからまったく違和感はありませんでした。それよりも普段あまり接することのない異業種・異職種の方々の考え方や発想、あるいは意見交換がとても刺激的で、この大学院に進学してとても良かったと満足しています」。

しかし、覚悟はしていたとはいえ、1年で修了するのはそれなりにハードだったという岩崎さん。「春学期の基礎科目の時は毎日学校に通ってました」と振り返る。「それでも毎日が楽しかったですよ。勉強して成長できているという充実感がありました」。



岩崎 かおりさん
<2015年3月修了>
大手監査法人勤務

この学校の資料を取り寄せる

科目等履修生で学び、修了単位に組み込む



陳 本栄さん
<2015年3月修了>
USTRON株式会社
代表取締役

陳本栄さんは中国出身。会社を営んでいた父親の間接取引先が日本企業だったため、子どもの頃から日本で仕事をしたいと考えていたという。「誰かに使われるのではなく、自分で会社を営みたかった」という陳さんは、来日し医療専門課程国際情報科の学校を卒業するとすぐに起業。現在はガラスコーティング材（蒸着材料）などの製造販売を行う会社を営んでいる。創業から21年目を迎え中国に3つの工場を持ち、従業員は380人を超える。起業から20年という節目に大学院の門を叩いた。

「ずっと走り続けて何とかここまで会社を営んできました。既存の事業が安定してきた中で次のステップに行こうと考えた時に、あらためて自分の力不足を実感したのが進学を考えさせたきっかけです。いろいろ調べていく中でMOTという分野があることを知り、まさにこれが自分の求めているものだと思いました」。

一気に全部受講するのは時間的に厳しいと感じた陳さんは、9月から科目等履修生として履修を始めて4月に入学。実質1年半で修了した。

「修了単位に組み込むことができる科目等履修生制度はとても助かりました。おかげで時間のやりくりがずいぶん楽になりました」。

この学校の資料を取り寄せる

特定課題研究の成果を経営陣にプレゼン

同研究科では修了にあたり特定課題研究に取り組むことになる。およそ8割の院生は自社の経営課題や事業戦略をテーマに研究しているという。桑鶴英幸さんは、自社のグローバルネットワークビジネスへの事業展開と人材育成を特定課題研究のテーマに選んだ。

「私は会社派遣の院生として大学院に通いました。自社でも既に数人が本学MOTを修了しており、どんなことが学べるのか、どれぐらいの負担がかかるのかは話に聞いていたので、それなりの覚悟を持って入学しました(笑)。現実には想像以上の大変さもありましたが、それを上回る勉強の成果を実感できています。一緒に学んだ異業種・異職種の仲間たちとの交流とさまざまな視点での発想や意見交換で与えられた刺激は大きな財産です。加えて、特定課題研究で取り組んだ自社の今後の事業展開についての研究には手応えを感じています。指導教員の方々に大変お世話になりながら完成させたこの成果を経営陣へプレゼンし、自分の思い描いたビジョンをなんとか実現させたいと思っています」。



桑鶴 英幸さん
<2015年3月修了>
フクダエンジニアリング株式会社
営業技術部 部長

この学校の資料を取り寄せる

特定課題研究の指導のために会社の視察も行う教員陣



同研究科の特定課題研究の指導体制はとても充実している。指導教員には主査1名に加え副査2名が付き、合わせて3人の教員で研究指導を行う。特筆すべきは、教員が研究対象としている企業を訪問し視察も行うことがとても多いということだ。例えば、前述の陳さんの特定課題研究の主査として指導にあたった小田研究科長は、テーマとなった中国の工場にも出かけた。

「その企業が置かれている状況は企画書やデータといった書類だけではよくわからないものです。実際に現地を訪れ見学をすることでより正確なもの見方ができ、的確な研究指導につなげることができます。大学院生たちが特定課題研究にかける熱意はとても強く真剣なものです。本気には本気

で応える。それが本研究科の方針です」と小田研究科長は語る。

「社会人を対象としている専門職大学院ですから、学んだ内容を成果に結びつけられるようにすることが大切だと考えています。1年で修了するカリキュラムは決して楽なわけではありません。しかし、ここで悩み苦しみながら勉強した成果と経験、そして仲間たちとの絆は他では得がたい財産になります。本研究科には『MOT倶楽部』という修了生がつくる組織がありますが、そこでも勉強会や講演会、相互の会社見学を行うといった活動が盛んに行われており、修了生たちの意識の高さがうかがわれます。大学院で学ぶという醍醐味を一人でも多くの人に体験してもらい、MOTの面白さと有益さをわかってもらいたいと思っています」(小田研究科長)。

この学校の資料を取り寄せる

Editor's Eye

編集部の視点

特定課題研究の指導のために、院生たちが働く会社や工場を視察するというお話に教員の方々の強い熱意を感じた。中国の工場にまで視察に出かけた小田研究科長の「本気には本気で応える」という言葉が印象的だった。



この学校の資料を取り寄せる

[学校の詳細情報をチェックする→](#)

学びたいことから探す

[IT](#) | [MBA](#) | [MOT](#) | [WEB](#) | [デザイン](#) | [医学](#) | [映像](#) | [栄養](#) | [会計大学院](#) | [環境](#) | [看護](#) | [教育](#) | [教職大学院](#) | [教養](#) | [経営](#) | [経済](#) | [芸術](#) | [健康](#) | [建築](#) | [語学](#) | [工学](#) | [国際](#) | [社会](#) | [宗教](#) | [情報](#) | [心理](#) | [人間](#) | [政策](#) | [政治](#) | [生活](#) | [知財](#) | [哲学](#) | [土木](#) | [美術](#) | [福祉](#) | [文化](#) | [文学](#) | [法科大学院](#) | [法律](#) | [理学](#) | [歴史](#) | [その他](#) | [全てを見る](#)

通学制大学・大学院

[MBA](#) | [MOT\(技術経営\)](#) | [知財他](#) | [会計大学院\(アカウンティング\)](#) | [経済・経営・商学](#) | [法科大学院\(ロースクール\)](#) | [法・政治・政策](#) | [心理・人間](#) | [教育・教職大学院](#) | [福祉・医療・健康・生活](#) | [社会・国際・環境・文化](#) | [文・語学・宗教・歴史](#) | [芸術・工芸・デザイン](#) | [Web・映像・アニメ系](#) | [情報・IT系](#) | [理学・工学・農産系](#) | [建築・土木](#)

通信制大学・大学院

[ビジネス系\(MBA・経済・経営・法・政治 他\)](#) | [文系\(文学・語学・社会学・宗教 他\)](#) | [心理](#) | [教育](#) | [福祉・健康](#) | [看護・医学・栄養・家政・生活関連](#) | [芸術・美術・伝統工芸・デザイン 関連](#) | [心理・人間](#)

[↑ページの先頭へ戻る](#)

[ケイコとマナブ](#) | [資格と仕事](#) | [通信講座](#)

[ご利用案内](#) | [よくあるお問合せ](#) | [メルマガ登録](#) | [プライバシーポリシー](#) | [提供情報について](#) | [広告掲載](#) | [ご利用者アンケート](#) | [サイトマップ\(1\)](#) | [サイトマップ\(2\)](#)

 **RECRUIT** (C) Recruit Lifestyle Co., Ltd.
[リクルートグループサイトへ](#)